



## 不二製油文化講演会

# VIVA！世界に羽ばたく日本のBENTO！

江戸時代の花見のお弁当（再現）  
「重箱」「福を重ねる」という意味を重ね  
慶事に赤飯や祝菓子を入れて  
贈答の容器としても使用された

近年、海外で日本のお弁当が人気です。  
英語やフランス語の辞書にも「BENTO」が載っており  
今や世界の共通語になっています。  
お弁当は日本では誰にも身近なものなので以外と気づかないでいますが  
海外の人たちを引き付ける「日本のBENTO」の魅力は何でしょうか。  
お弁当の歴史をたどりながら、その魅力を紹介します  
日本のお弁当が最初に注目されたのは2010年代のフランスから、  
アニメや漫画に登場するお弁当シーンがきっかけでした。  
いまでは、日本のお弁当の良さを取り入れながら  
各国でオリジナルBENTO CULTUREが生まれています。

注目され、広い世界に羽ばたくお弁当。  
そのお弁当文化を育んだ日本人の感性と知恵に  
「VIVA！あっぱれ！万歳！」  
と、拍手を送りたくなります。



講師プロフィール

権代 美重子さん



1950年生れ。  
大阪府立三国丘高校、日本女子大学卒業。  
立教大学大学院修了（経営管理学修士）

(株)住友銀行秘書  
日本航空(株)国際線客室乗務員・文化事業部講師を経て  
(財)日本交通公社講師  
全国観光地、観光産業のホスピタリティ醸成と人材育成の指導、  
国土交通省、観光庁、観光地の観光振興アドバイザー  
や委員を務める。  
2009年より横浜商科大学、文教大学、高崎経済大学  
非常勤講師  
(ホスピタリティ論、国際観光論、アーバンツーリズム、  
ライカビリティの心理と実践を担当)  
日本観光研究学会・日本国際観光学会会員  
「日本のもてなしと食文化」研究者  
現 東京都観光まちづくりアドバイザー  
NPO沖縄県観光産業研究会理事

開催日 2025年3月29日（土）

会場 スターゲイトホテル関西エアポート  
4階 「真珠の間」

時間 14：00～16：00  
開場 13：30～/受付開始 13：00～

主催 NPO法人りんくうメディカルプラザ（リメップ）

TEL 072-473-5510

ホームページお問合せメールアドレス  
URL：<https://rimep.or.jp/outline.html>

●「日本のお弁当文化」(法政大学出版局、2020年刊) ●



法政大学出版局  
2020年4月出版  
2020年7月2刷発行  
252頁

- 序章 世界が注目する日本のお弁当文化
- 第1章 「働く力」とお弁当
- 第2章 花見弁当 季節や自然を楽しむお弁当
- 第3章 観劇弁当 芝居と一体化して楽しむお弁当
- 第4章 駅弁 旅情を楽しむお弁当
- 第5章 松花堂 おもてなしのお弁当
- 第6章 食の思想とお弁当
- 第7章 社会の変化とお弁当



幸せ運ぶ小さな箱から日本文化が見えてくる。百姓や雑兵の携行食から、観劇のお供の幕の内、各地の名産の詰まった駅弁、松花堂や禅林の心得、現代のキャラ弁まで一器や食の作法の伝統に注目しながら語り下ろした画期的な「弁当文化論」!

2013年「日本の伝統的な食文化」がユネスコの世界文化遺産に登録されました。プロの料理人が調える和食は本当にすばらしいものです。とともに、注目されるのは、日本の食文化にみる庶民の食に対する意識と美意識の高さであり、それが日常生活の中に浸透していることです。その代表的なものとして「お弁当」を取り上げ、文化として光を当て執筆したのが「日本のお弁当文化」です。日本のお弁当文化は底流に信仰や食と生き方を重ねて考える思想があります。四季に恵まれた日本ならではの美意識と感性、生活の中から生まれたたくさんの知恵と工夫が小さな箱の中に詰められています。また、個人の携行食としてだけでなく、時代の変化に応じて社会的役割も担うようになってきました。海外からも稀有なすばらしい携行食として注目を集めています

書評紹介

●読売新聞 作家宮部みゆき評

「お弁当文化」は、どのように出来上がったのだろう。  
単に空腹を満たすために留まらず働く人々は集って食事をとることで互いを労り合い、  
豊漁や収穫をもたらしてくれる神々に感謝を捧げる機会も得た。  
現代のキャラ弁や弁当男子の話題にも触れて、  
幕の内弁当のように充実した美味しい一冊になっている。

●日本経済新聞 与那原恵評

日本のお弁当は「庶民文化の質の高さを表している」と著者はいう。  
自然の恵みをもたらす神への信仰心、お弁当を分け合うことで育まれる  
人とのつながり弁当箱に見られる知恵や美的造形など、  
さまざまな角度から探求した本書は、幕の内弁当のように美しい。